

公立大学法人名古屋市立大学第二期中期目標（案）
に対する市民意見の内容及び市の考え方（概要版）

実施結果等

1 市民意見募集実施期間

平成 23 年 7 月 19 日（火）から平成 23 年 8 月 17 日（水）まで

2 市民意見提出状況

意見提出者：12 人 意 見 数：34 件

3 市民意見に対する市の考え方の公表について

平成 23 年 10 月 27 日（木）より、市公式ウェブサイト及び市民意見募集配付場所（市民情報センター、区役所・支所、図書館、生涯学習センター、市立大学）にて配布

	市 民 意 見	市の考え方
目 標 案 全 体	・地方自治体が大学を持つ意義を目標に記載すべき。 ・名古屋に定着する大学になってほしい。	市が大学を設置する意義は、高等教育の機会均等と教育研究成果の地域社会への還元であり、第二期中期目標でも当該意義を踏まえ、「全ての市民が誇りに思う・愛着の持てる大学」をめざしていく。
	・この地域に理学系の大学が少ないことから、市立大学に理学部を設置してほしい。	理学部設置を含め、学部・学科のあり方については、少子化や社会のニーズの変化の状況、必要な人員・施設・経費など総合的な視角からの検討が必要であると考えている。

前文	・「我がまちナゴヤの大学」と名古屋をカタカナ表記したのはなぜか。	名古屋市及び市立大学が、あらゆる世代、あらゆる国の人にも親しみ易く、広く受け入れられるような表現を意識した。
教育	・社会人教育を充実させてほしい。	第一期中期目標期間に社会人教育の充実にかかる制度を構築しており、その成果を踏まえ、第二期中期計画で具体的に取り組む。
研究	・研究者がより高い研究レベルに挑戦できるよう支援を行うとともに、研究成果を市民に発信する仕組みを充実させてほしい。	第二期中期目標では「世界の水準で競争できる研究活動を推進する」ことや「研究成果を市民、地域・社会へ還元する」ことを掲げており、着実に取り組むよう努める。
社会貢献	・多様な生涯学習講座を開講してほしい。 ・市民の教育・研究の意欲を引き出す仕組みを充実させてほしい。	第一期中期目標期間においても時代や市民のニーズに適合する多様な公開講座の開講に努めており、引き続き第二期でも、市民からの意見を参考にしながら、公開講座等の充実に取り組む。
附属病院	・この地域で働く医療従事者を多く育てて欲しい。 ・病院スタッフの増員が必要である。	第二期中期目標では「高い倫理観と優れた技術を有する医療人の育成」や「質の高い安全安心な開かれた医療の提供」を掲げており、着実に取り組むよう努める。
その他	・開かれた大学、誰でも容易にアクセスできる大学を目指してほしい。	・第二期中期目標では「戦略的広報の充実を進め、大学の持つ魅力を社会へ発信」することを掲げており、着実に取り組むよう努める。
	・COP10の成果や課題の対応について第二期中期目標に記載すべき。	・第二期でも「地球環境の保全に関わる教育研究課題に重点的に取り組む」ことを掲げている。